

# 目次

巻頭言 学長・日本総合研究所所長 高橋 暢雄

## 目次

<b>I 文化財保護の意義と可能性</b>	<b>1</b>
— 国宝彦根城跡と国指定特別史跡埋木舎の事例を中心に —	
1 文化財保護の実際 国指定特別史跡「埋木舎」の保存事例 .....大久保 治 男	3
2 彦根市における文化財とその保護 .....花 木 勉	14
3 文化財保護制度概観 .....鈴木 陽 子	24
<b>II 金融市場における投資方法についての理念と実際</b>	<b>27</b>
— オルタナティブ投資を一例として —	
.....山 崎 和 邦	29
.....谷 村 哲 夫	
.....高 橋 暢 雄	
<b>III 日本語力習得の研究</b>	<b>53</b>
1 職業としての英語と言語学的問題点	
(1) 翻訳の仕事とその課題 .....梅 田 紘 子	55
(2) 通訳の仕事とその課題 .....小野寺 和 子	60
2 留学生における日本語習得と国語教育への応用 .....三 好 行 雄	65
.....東 出 正 信	
.....西久保 栄 司	
<b>IV 茶を通じた文化コミュニケーション</b>	<b>95</b>
1 日本茶の今昔と狭山茶について .....植 竹 隆	97
2 民俗から見た茶文化 .....林 猛	104
3 中国の茶思想から日本茶道へ .....楊 華 年	108
.....大 内 章	
4 イギリスの紅茶文化に関する一考察 .....佐 々 木 隆	117